



結婚おめでとう!! 滝浦始君、タネおばあちゃん、佐々野舞さん 6/22
(記事No. 6)

島のひかり ホームページアドレス
<http://lifeaidgoto.jp.cx/simanohikari/>



発行

カトリック浦頭教会
広報委員会
五島市平蔵町2716
TEL 0959-00072
印刷・(株)才津印刷所

ビールも採石所も

主任司祭 岩崎 晋吾

先日ニュースを見ておりましたら、ベルギービールの危機という話題が放送されていました。

ベルギー南部のロシュフォールという小さな町のサン・レミ修道院は、数百年間ビール製造に携わってきた老舗の修道院です。この修道院のビール製造に危機が迫っているというのです。

原因となっているのは修道院の近くにある採石所で、今後、採石所はより深い採石作業を行う予定になっており、この計画のために地底にある石灰岩が奪われてしまうこととなります。修道院は、その石灰岩が生み出すおいしい水によってビールを製造してきました。石灰岩がなくなってしまうえば、その澄んだ水が得られなくなり、これまでの味を保ったおいしいビール製造ができなくなるといわけです。ということ、自然保護団体と修道院がこの計画に反対しておりまして、町が愛したお

しいビールを守るのか、採石の拡大で町の雇用を守るのか、どちらが大切なのかということ、議論になっているのです。遠い国の話ですが、ビール好きの私にとってはちょっと気になる話題でもあります。

どちらが大切なのでしょう。ビールか採石所か・・・難しい問題です。

私たちは難しい選択を迫られる場合があります。それが生活と命にかかわる問題であればある程、慎重になるものです。教会においてもそうです。教会には教えや掟がありますが、そのまま即座に問題の解決策になるかという、そうではありません。教皇様は先日、同性愛者や中絶の問題について「それはいけない」と即判断を下すのではなくて、この問題を抱えている人の身になって寄り添っていくことが、教会の大切な姿勢であると言われておられました。

ビールも採石所も上手く両立して、町の人々の喜びとなっていくほしいものです。

合同黙想会

小学生七月二十二日、中学生八月二十二日、五輪と江上教会を巡礼し、それぞれ感じたことを書いた。

一年 きぐち そらと

えがみきょうかいのおはなしをきけてうれしかったよ。えがみきょうかいのやねのしたをみると、はなのかたちがあったよ。

一年 はまさき かなた

きょうかいのなかにはいったとき、きれいでした。

一年 なべうち りこ

いろんなきょうかいにいったのしかったです。いくきょうかいがはじめていくので、うれしかったです。

一年 しらはま ゆう

えがみきょうかいは、よつばのくろうばがやねにあって、すごいとおもいました。

一年 なべうち かれん

わたしのおもったかんそうはこのきょうかいのことを、おしえてもらいました。だけどわたしはそう、おもいませんでした。たのしいです。

一年 おだ りんか

しんぶさまのゆったとおりのうかんでいました。かんそうはうれしかったです。みどりにつままれて、とてもきれいなみどりにかこまれて、とてもきれいでした。

二年 鍋内 玖怜彩

えがみ教会には、たくさん本がありました。ほとんどのいろが白や、青でした。そこからみて中がどんなふうか、ちょっと考えてみて入ったけど、中はほとんどのいろがちやいろでした。

四年 鍋内 凌空

今日、ぼくは江上教会を見て

思ったかん想は、まず中の作り方がすごかったので、むかしの大工さんはすごかったんだなあと思います。それに国の文化財になっていたのですごかったです。次に九十五年目という長い年月がたっているのに、まだのこっているの、むかしの人の気持ちが悪かったんだなあと思いました。



江上天主堂 (奈留島)

四年 白浜 光玖

えがみ教会には、たくさん工ふうがありました。一つ目は冬にさむくならないように、教会をうかせたり、川の水がこ

いようにみぞをつくったり、なにより森の中に作って台風をふせぐのが、すごいと思いました。この工ふうに感どうしました。

四年 濱崎 沙也加

わたしは、えがみ教会が下の所がういているのが、すごいと思います。あと始めて見た時、まわりに木がたくさんあったので、びっくりしました。えがみ教会にはたくさん工夫があって、すごいと思いました。それに九十五年前にたつたというのが、すごいと思ったし、びっくりしました。えがみ教会でミサをしてみたいと思いました。

五年 鍋内 優海

堂崎教会より五輪教会の方が古いのを知った。江上教会は九十五年間もあって森にかこまれて台風のひ害にあわない。五輪教会は約百三〇年も続いて外は日本の家で、中は洋風で今の大江じゃつけれない形だと分かった。

六年 入口 舞桜

今日、初めて江上教会に来ました。特ちょうはゆかがういていて水蒸気が入りにくいのが、特ちょうです。森におおわれていて木が風から守ってくれるので、こわれないと思います。

中学三年 赤尾 鈴香

今年の合同黙想会は二つの教会を見に行きました。江上教会、五輪教会どちらも歴史のある教会で信者さん達から大切にされていることがわかりました。五島にはまだ、たくさんの教会があるので守っていかないとけないと思いました。今回の黙想会では、五島にある教会の歴史を少しでも知ることができて良かったです。



広島平和学習

堅信組

八月五日、六日堅信組の準備の学びの一環である平和学習が広島で行われました。今年は中学生の参加が多く、他の教会の子供たちと親睦を深めながらの学習となりました。最初は旅行気分でしたが、平和行進、学びの時間、ミサなどのプログラムを行う中で、徐々に学習の自覚が出てきたようです。無事にやり遂げました。

ぼくは、広島に行って学んできたのは、戦争はとてもおそろしい、核兵器を二度と使っていないけない、戦争をやってはいけないことです。ぼくは、ビデオを見て、アメリカの人にインタビューしてるシーンがありました。その時に言った言葉は、「作戦がうまくてよかった。でも、日本人の人々たちには、やってはいけないことをやってしまった」と言っていました。だからこそ戦争は、二度としてはいけ

ないと思いました。

濱崎 吉成

ぼくが広島に行って思ったことは、戦争はこわいから絶対にくりかえしてはいけないということです。その理由は、映画をみてわかったことですが、原子ばくだんなどのかく兵きやばくだんなどで人を殺して自然を壊かいて悲しいことだらけだし、もし生きていたとしても国はまじしくなるので、毎日、おなかいっぱいにならなかつたりして人がみんな苦しむからです。だから戦争は絶対にくりかえしてはいけないと思えました。

鍋内 颯太



広島平和学習の感想

私が一番記憶に残ったのは、平和行進をしたことです。最初は、歩くのがめんどくさいなと思ってたけど、全然きつくなかつたし、歌ってたので、すつごく楽しかったです。原爆ドームは、想像してたのより小さかったけど、被害の大きさはすごく分かりました。それから、友達もできてうれしかったです。

大浦 緋莉



しつてびっくりした。みんなと友だちになれてうれしかったし、カレーもおいしかったです。少ない人数でもたのしかったです。

四年 白濱 光玖

純心子どものつどいに参加して、新しく友達ができたし、よき羊飼いのお話をしたりしてと



でも楽しく活動できた。羊飼いは、羊のために命をささげるのです。すごいなと思った。羊飼いは、イエス様だということが分かつ

た。B班のみんなと楽しく活動できて良かった。また、来年も参加したい。

中一 葛島 奈保

御ミサの中で、自分の作った羊を奉獻しました。その羊の中に、今日一緒にお祈りしたいと思う人たちの名前を書いて入れました。ミサの中で、祈りの輪が広がりました。暑い中、共にミサを捧げて下さった神父様、ありがとうございます。来年も皆さんの参加お待ちしています。

シスター 濱崎 久美

元気いっぱい の運動会

平和のぼら保育園保護者

鍋内 秀喜

秋晴れの九月二十八日、平和のぼら保育園の運動会が開催されました。

ここ三年間は雨のため体育館での開催でしたが、今年は晴天

に恵まれ多くの方にご来園いただき、園児たちの元気いっぴいの姿を観ていただくことができました。

まずは、入場行進。ちょっと緊張気味の子や、余裕で手を振る子などさまざま。

開会式では、「転んでも泣きません。最後まで一生懸命がんばります」と誓い、競技がはじまりました。

かけっこやリレーでは、こけひざなど擦りむいた子どもも



お父さんと仲よし

いましたが、そこは誓いの言葉のとおり、ぐっとこらえて泣かずにゴール。

おじいちゃん、おばあちゃんとの玉入れ競争は、全部入ってしまった方が勝ちというルール。タッチの差で子どもたちの勝利。ジャンプしての万歳は本当にうれしそうでした。

また、太鼓の演技では衣裳に着替え、バチを先生からもらうと顔つきも変わり、何カ月も練習してきた自信も感じ取れるほど力強い演技は、子どもたちの成長を頼もしく嬉しく感じることができました。

これも園長先生をはじめ、先生方の熱心な指導のおかげであり、とても感謝しております。今後も、クリスマス会などの行事も予定されていますので、是非多くの方にご来園いただき、子どもたちへの声援をお願いします。



沖繩平和学習を終えて

浦口 千愛

私は今回の沖繩平和学習に参加し、たくさんの方を感じることができました。実際ガマや防空壕、米軍基地などを見て、過去の沖繩・現在の沖繩の状況を実感し、怖い気持ちになりました。

特に印象に残っているのは、南風原壕群20号と糸数壕です。中は真っ暗で、ライトなしでは全く何も見えませんでした。当事者たちの気持ちを少しでも身を感じる事ができてよかったと思います。

壕の他に、米軍基地などにも圧倒されました。バスから外を見るとどこまでも基地が広がっており、戦車なども数えきれないほどありました。

私は長崎に住んでいて毎年平和学習をするけれど、今まで学んできたものと今回の沖繩平和学習とは知らないこと、たくさん違いを感じることができ

ました。私に世界の争いを止めることはできないけれど、困っている人・助けを求めている人、誰かの役に立ちたいと思います。何事でも身近なことから行動していきたいと思えます。この沖繩平和学習に参加して本当によかったです。



召命フェスティバル 雲仙

八月十九日(月)長崎教区召命会主催の召命の集いが雲仙メモリアルホールで行われました。当日は、良い天候に恵まれ、ミサ、雲仙殉教地巡礼、シスター司祭によるアトラクションとレクレーションが行われました。楽しい中に召命を考えさせるプログラムになっており、有意義な時を過ごせたようです。

壮年会に感謝



壮年会より、今年の研修会は、教会内の椅子と机の修理をする事にしました。十月六日昼から十六名の参加をいただき、当日は、教会より出す人、電動サンドペーパーをかける人、機械で出来ない所を手掛けする人、座りの悪い所を修理する人、又、別の所ではニスを塗装する人等々、色々な仕事をしていただき、椅子が21、机が8、をする事が出来ました。

一部分ではありませんが、以前より美しくなっていると思えます。

これからも少しずつですが、塗装、修理等を行って、綺麗な教会にしていきたいと思えます。会員の皆さま、信徒の皆さま

のご協力のほどをよろしくお願
いいたします。

壮年会会長 浜口 告公

ハッピー
ウェディング
6/22

当日は結婚式日和!! 熱かった!?! 岩崎神父様が着任して三年初めて司式となる結婚式。新郎は、浜泊の江口タネさんの孫の滝浦始君、新婦は福江の佐々野舞さん。九十四歳になる育ての親、タネばあちゃんのため希望で浦頭教会での挙式。永遠の愛を新たに、幸福の目差し先には、新婦、舞さんの数ヶ月で九十四歳というまつ子ばあちゃんも、両家共に感無量の日。親孝行も祖父母孝行も生きてこそできるものかな? 二人の共通の趣味はバレーボール。人気者の二人。仲間が祭壇の花に枝に思いをこめた。聖歌を皆で盛り上げて終った。新居は福江で、佐々野始として頑張るといふ。若い二人、神父様とのせっかくの絆、これからも大切に!! タネばあちゃん、良かったね。神のおだやかな温もりに感謝!!

トイレ

改修工事

九月より浦頭教会隣のトイレ改修工事が行われています。

完成は、来年三月ですが、その間はトイレ及び周辺駐車場は神羊館に移動しています。

新設トイレは男子、女子と幼児・障害者用の多目的スペースの三割で、バリアフリーの為にスロープ仕様です。

教会の規模に応じて、合併処理対象が二十一人と多く、工費が割高ですが、全信徒からの拠出金で完成しますので、長くきれいに使えればと思います。



解体風景

おたより

いつも島のひかりお送りくださいまして、ありがとうございます。みな様のご健闘を読ませていただき、私共も励みになっています。

只今は信仰年、間もなく教区シノドスが始まりますね。ますますのご健闘を祈っております。

八王子市 純心聖母会修道院

Sr 浜口 昌子

いつも「島のひかり」を送って頂きありがとうございます。なつかしいふるさとのお便りと合わせて、浦頭教会の神父様、信徒の皆様の深い信仰、祈りの力が伝わって参ります。心から感謝申し上げます。

遠くはなれていてもふるさとの様子がよくわかるように記述されているので、一気に拝読させて頂き、共に信仰のよろこびのうちに、皆様のためお祈りいたします。

神奈川県 聖心の布教姉妹会

Sr 大川 ヨシノ

感謝

—— 香典返し ——

カトリック浦頭教会

濱口 告公様 大泊

故アントニオ 濱口 善光様

右の方からご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

ありがとう

今回、次の方々より御芳志を頂きました。

私達編集員一同、紙面の充実を計り、皆様へのお返しとさせていただきます。感謝のうちに…。

佐世保市 坂本 砂子様

福江 聖家族修道院

Sr 浜口 ナツエ様

神戸市 峯下 喜美代様

八王子市 Sr 浜口 昌子様

神奈川県

聖心の布教姉妹会

Sr 大川 ヨシノ様

秘

跡

《結婚》

トマ 滝浦 始 浜泊
佐々野 舞 福江
(九月二十二日)

《帰天》

アントニオ 濱口 善光 大泊
(八月二十四日 九十一歳)

ヨゼフ 山口 留幸 宮原
(九月二十一日 七十七歳)

アグスチノ 小田 敏昭 大泊
(十月十四日 七十歳)

ドミニコ 宮崎 武夫 宮原
(十月十八日 九十二歳)



合本号購入募集

151号
200号

昭和四十七年三月一日、第一号を発刊して以来、浦頭教会と共に歩み続けた「島のひかり」も、ついに二〇〇号を迎える事になります。

当時の、主任神父は野下千年神父様。故郷にいる信徒と他郷に働く人々との絆となる広報紙作りを通じて、世を照らすひかりをみんなの手元に届けたい。精鋭達が、神父様を中心に集められ、想像をめぐらせ、文章を編んでいく。読者に、どうやって興味深く、都会で苦勞している気持ちに、癒しを与えられるか!?

強い意志は、幾多の苦難や喜びを経験しながら、二〇〇号という頂きを間近に見る所まで来ました。

ついでには、合本号募集を致しますので、郵送等を通じて、御購入下さい。一冊 千円。合本号送料 五百円。

宛先・浦頭教会・島のひかり宛

ふるさとだより

育友会 みなと祭りに参加します

奥浦小学校育友会

この春、我が育友会では、無謀ともとれる計画を立てました。それは、自分達でネブタを作り、ハッピーまで作り、福江みなと祭りに参加するというものです。何もかも未知の世界で手探りの中、全員一同おろおろしながらも、一生懸命に取り組んでおります。

ハッピー作りに当たっては、地



みなと祭りと運動会に参加

域の方の御厚志により大漁旗をゆずって頂き、またネブタ作りにあたっては、OB会代表でもある赤尾健野さんに製作指導をして頂いております。奥浦地区に感謝、感謝であります。

子供達、先生方、そして保護者と皆で力を合わせ、当日は思い切り楽しみたいと思います。

青空のもと

奥浦健児!!

集れ

十月十三日、市民運動会が行なわれました。今年は小・中学校の運動会も合同で開催されました。

全校生徒も小学生四十五名、中学生二十八名です。団塊世代の人々からしますと、「一クラスですか」と質問されそうな人員となりましたが、中学校校歌の中にあります「郷土の明日をになうもの」の言葉と、子供達の内秘めた力、たくましさを感じて運動会でした。

編集後記

家でゴロゴロとテレビを観ていると、小学生の夏休みの宿題や日記のやり方が、将来、大人になった時の仕事のこなし方に関係するという、ホンマでっかな番組をやっていました。

嫁からは小学生時代の自分がどうだったか聞かれたが・・・振り返ると宿題は調子が良い時にやり、日記は天気は間違えないうようにして、三々四日まとめて書いていた記憶があるが言えず。ただ、好きな事を優先して仕事で徹夜している姿を度々見られているため、検証はホンマであると思われるので、自分でもそう思います。

秋はの秋というように、色々趣味や活動がやり易い季節であるため、何かやりたいと思います。体に染み付いた習慣で行動するのも良いですが、最近、色々二才の息子が行動をマネして困りますので。

入口 信